

岩沼市教育委員会
点検・評価報告書
(平成 29 年度実績)

岩沼市教育委員会

目 次

I 点検・評価の概要	1
1 本報告書について	
2 点検・評価実施内容	
II 教育委員会の会議等活動状況	2
1 教育委員会の会議の開催状況	
2 総合教育会議の開催状況	
3 教育機関訪問	
III 事務事業の実施状況・点検・評価	5
岩沼市教育基本方針	5
「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業	6
「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業	11
「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業	13
「感動と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業	15
IV 学識経験者の意見	16

I 点検・評価の概要

1 本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、岩沼市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果をまとめたものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価実施内容

岩沼市教育重点目標に基づいて平成29年度に実施した主な事務事業の執行状況について、教育委員会において点検・評価を行いました。

その後、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、学識経験者2名の方から御意見をいただき、改めて各事務事業を検証しました。

御意見をいただいた学識経験者

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

II 教育委員会の会議等活動状況

○教育長・教育委員（平成 29 年度在籍）

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	百 井 崇	(H25. 10. 1～)
教育長職務代理者	佐 藤 雅 晴	(H29. 10. 1～) (委員 H4. 10. 9～)
委 員	小 林 修 子	(H24. 10. 9～)
委 員	藤 川 チユキ	(H19. 10. 4～)
委 員	南 館 公 雄	(H26. 11. 1～)

1 教育委員会の会議の開催状況

岩沼市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、定例会を毎月 1 回、臨時会を必要に応じて開催しています。平成 29 年度は、15 回の会議を開催し、27 件の議案を審議しました。

開催期日・会議	議案番号	内容
平成 29 年 4 月 27 日(木) 定例会	第 10 号	学校医、学校歯科校医及び学校薬剤師の委嘱について
	第 11 号	岩沼市スポーツ推進委員の委嘱について
	第 12 号	岩沼市社会教育委員の委嘱について
	第 13 号	岩沼市文化財保護委員の委嘱について
5 月 23 日(火) 定例会	第 14 号	岩沼市学校給食運営協議会委員の委嘱について
	第 15 号	岩沼市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	第 16 号	岩沼市いじめ問題対策推進委員の委嘱について
	第 17 号	岩沼市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
	第 18 号	岩沼市青少年室運営協議会委員の任命について
	第 19 号	岩沼市青少年室青少年相談員の委嘱について
	第 20 号	岩沼市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	第 21 号	岩沼市障害児就学指導審議会委員の委嘱について
6 月 29 日(木) 定例会	第 22 号	岩沼市通学路等安全対策推進委員の委嘱について
	第 23 号	岩沼市教育委員会行政組織規則の一部改正について
	第 24 号	岩沼市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
	第 25 号	岩沼市教育委員会文書取扱規程の一部改正について
	第 26 号	岩沼市教育委員会公印規程の一部改正について

開催期日・会議	議案番号	内容
6月29日(木) 定例会	第27号	小学校給食調理等業務委託の進め方について
	第28号	総合体育館の指定管理者による管理運営の進め方について
7月10日(月) 定例会	第29号	平成30年度使用教科用図書採択希望について
8月18日(金) 定例会		
8月18日(金) 秘密会		生徒の事故報告
9月28日(木) 定例会	第30号	岩沼市民図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
10月12日(木) 定例会		
11月9日(木) 定例会	第31号	岩沼市教育委員会公印規程の一部改正について
	第32号	平成30年度岩沼市教育委員会予算について
12月21日(木) 定例会		
平成30年 1月25日(木) 定例会	第1号	岩沼市教育基本方針及び平成30年度岩沼市教育重点目標並びに学校教育方針について
2月15日(木) 定例会		
2月15日(木) 秘密会	第2号	県費教職員の任免等の内申について
3月22日(木) 臨時会	第3号	市職員(管理職)の人事異動について
3月29日(木) 定例会	第4号	岩沼市民バス通学児童用無料乗車証交付要綱の制定について

2 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会により、総合教育会議を開催しております。平成29年度は、2回の会議を開催し、4件の議題について話し合われました。

開催期日	議 題
平成29年5月23日(木)	平成29年度予算における教育分野の主な取り組みについて
	平成30年度以降の教育委員会の課題について
平成29年11月17日(金)	平成30年度重点的に取り組む教育施策について
	子どもたちの夢・あこがれを育む具体的な方策について

3 教育機関訪問

毎年、岩沼市内の教育機関及び小中学校を訪問、視察し、教育委員と所属長との意見交換を行っております。平成29年度は次のとおり実施しました。

開催期日	視察先
平成29年10月12日(木)	岩沼市立岩沼小学校 (ALT 授業)
	岩沼市立岩沼中学校 (ALT 授業)
	岩沼市陸上競技場

Ⅲ 事務事業の実施状況・点検・評価

点検・評価の対象とした事務事業は、平成 29 年度岩沼市教育基本方針の 4 つの分野における重点目標として掲げた下記の 17 項目とし、その実施状況について記載し、基本方針ごとに点検・評価を行いました。

記

岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、たくましさやさしさを培う学校づくりの推進
学びと潤いにみちた地域社会の実現
かおり高い芸術文化の醸成
感動と活力あふれるスポーツの振興
を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

平成 29 年度岩沼市教育重点目標

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

- 1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり
- 2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成
- 3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進
- 4 信頼され魅力ある教育環境づくり

学びと潤いにみちた地域社会の実現

- 1 社会教育推進体制の整備
- 2 学習機会の充実
- 3 家庭教育及び幼児教育支援の充実
- 4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- 5 社会教育団体活動の推進と支援
- 6 社会教育施設の充実
- 7 読書活動の推進

かおり高い芸術文化の醸成

- 1 芸術文化活動の推進
- 2 文化財の保護と活用の推進

感動と活力あふれるスポーツの振興

- 1 スポーツ団体活動の支援
- 2 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- 3 スポーツ施設の整備と活用の推進
- 4 スポーツ振興基本計画の策定

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 校内研究や教職員研修の充実
(教育指導専門監派遣による校内研究充実支援事業)
 - 専門監訪問回数30回
- ② 個に応じたきめ細やかな指導の充実
(指導助手・支援員の配置事業)
 - 小中学校指導助手7名 特別支援指導助手11名 特別支援教育支援員13名を配置
- ③ 学習習慣の確立と定着を図る取組の推進
(「家庭学習の手引き」及び「家庭教育のために」の作成・配付事業 学力向上推進事業)
 - 家庭学習の手引き：全児童・生徒へ配付
 - 家庭教育のために：新入生保護者配付
 - 岩沼学び塾：夏季・冬季休業期間及び放課後実施
- ④ 理科教育の充実
(只野文哉記念科学技術奨励事業「作品展」「サイエンススクール」「理科大好きフェスティバル」)(副読本作成・配付事業「わたしたちの岩沼」「いわぬまの自然」)
 - 科学技術作品展：10月市民図書館にて開催
 - サイエンススクール：西小・西中にて実施
 - 理科大好きフェスティバル：10月14日西小で開催(来場者約350名)
 - いわぬまの自然タブレット版：平成30年4月1日リリース
- ⑤ 全国学力・学習状況調査結果の分析・考察と改善方策の展開
(教務主任者会・研究主任者会)
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進
(教務主任者会・研究主任者会)
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示
- ② 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業の充実
(プロポーザル事業 未来へはばたく学校づくり事業 夢あこがれ支援事業)
 - 小中学校へ計8,492,000円の助成
- ③ ユニーク先生活用事業の充実
(ユニーク先生活用事業)
 - 各小中学校の特色を生かして展開

- ④ 適切な進路指導及び地域と連携したキャリア教育の推進
(志教育及び夢☆あこがれプロジェクト事業)
- 劇団四季による観劇（小学校高学年対象・市民会館にて開催）
 - 西村まさ彦さんよる授業（西小で開催）
 - スクールコンサート（玉中で開催）
 - 理科大好きフェスティバル（西小で開催）

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

- ① 環境教育・ふるさと教育の推進
(総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業)
- 小中学校へ計 8,492,000 円の助成
- ② 国際理解教育の推進
(ドーバー市との生徒間交流事業)
- 7月13日～17日に市内小中学校との交流を実施
- ③ 外国語活動及び外国語教育の充実
(外国語指導助手招致事業 外国語活動（英語）研修会開催)
- 外国語指導助手（ALT）を3名配置
 - 英語教育推進委員会 5回開催
 - 英会話研修会 6回開催

(4) 教職員の資質・能力の向上

- ① 学校経営研修の充実
(校長会議 教頭会議)
- 小中学校校長会議及び教頭会議を毎月開催
- ② 若手教員の学びの場の提供
(志高研修会の開催)
- 7月26日～28日 蔵王少年自然の家で開催（受講者21名）
- ③ ICT等教育機器の研修の充実
(電子顕微鏡操作研修会・ICT研修会)
- 7月28日開催
- ④ 職能に応じた研修会の開催
(教務・研究主任者研修会 指導助手研修会 支援員研修会 教育相談研修会 等)
- 教務・研究主任者研修会 6回開催
 - 指導助手研修会 3回開催
 - 支援員研修会 1回開催
 - 教育相談研修会 2回開催

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

(1) 命と人権を大切に作る心をはぐくむ道德教育の推進

(道德教育研修会 教育指導専門監派遣事業)

- 道德教育研修会 1回開催

(2) いじめ防止対策の推進

(いじめ防止基本方針に基づく協議会や委員会 教育・いじめ防止フォーラム)

- いじめ問題対策推進委員会・連絡協議会 2回開催
- 岩沼市立学校「教育・いじめ防止フォーラム」の開催(12月)

(3) 一人ひとりを大切にしたい生徒指導及び心のケアの充実

(小学校支援事業 中学校支援事業)

- 子どもと親の相談員の配置(市内小学校計2名)
- 小中学校にスクールカウンセラーを配置
- スクールソーシャルワーカーの拠点校を岩中に配置

(4) 安全指導の充実及び防災教育の推進

(学校防災推進委員会 通学路安全プログラム事業)

- 防災推進委員会の開催 3回開催
- 岩沼市総合防災訓練の参加(7月)
- 通学路交通安全推進委員会 2回開催

(5) 生活習慣の改善及び食育の推進

(岩沼健幸運動)

- 岩沼健幸運動を小中学校にて実施(6月・11月)

(6) 体力・運動能力の向上と健康教育の推進

(運動体力講師派遣事業及び部活動支援事業並びに学校保健会への支援事業)

- 総合特色事業として助成
- 岩沼市学校保健会へ450,000円の助成

3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進

(1) 全校体制による特別支援教育の展開

(特別支援教育総合推進事業)

- 特別支援連携協議会 2回開催
- コーディネーター等連絡会 2回開催
- 特別支援研修会 1回開催

(2) 特別支援指導助手及び特別支援教育支援員の配置の推進

(特別支援指導助手及び特別支援教育支援員配置事業)

- 特別支援指導助手 11名配置
- 特別支援教育支援員 13名配置

(3) 一人ひとりのニーズに応じた支援の充実

(個別の支援計画及び適切な就学指導)

- 個別の支援計画活用率63%
- 障害児就学指導審議会 3回開催

(4) 発達障害に関する理解の推進

(コーディネーター等連絡会及び研修会)

- 社会福祉課と連携した研修会の開催(7月・12月)

4 信頼され魅力ある教育環境づくり

(1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進

(小中学校就学環境整備事業)

- 就学援助費の支給
 - 小学校(合計) 18,346,588円
 - 中学校(合計) 21,451,141円

(2) ICT教育環境の整備の推進

(総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業)

- 小中学校に計8,492,000円の助成

(3) 小・中学校指導助手及び特別支援指導助手配置の推進

(小・中学校指導助手及び特別支援指導助手配置事業)

- 小中学校指導助手7名 特別支援指導助手11名 特別支援教育支援員13名を配置

(4) 教員が子どもと向き合う時間の確保(多忙化の解消)

- 在校時間調査
- 週2日休日の部活動
- 学校事務共同実施の効率化

(5) 教育相談体制の充実

(子どもと親の相談員 スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカーの配置事業)

- 子どもと親の相談員の配置（小学校計2名）
- スクールカウンセラー（全小中学校へ配置）
- スクールカウンセラーを拠点校の岩中へ配置
- 新就学児童向けの就学相談会の実施（8月）

（6）学習支援ボランティアの活用と協同教育の推進

（宮城教育大学・仙台大学・東北福祉大学等との連携及び地域連携推進事業）

- 理科大好きフェスティバル
- 岩沼学び塾
- 中学校総合体育大会における支援

（7）家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進

（学校評議員及び地域連携推進事業）

- 学校評議員32名委嘱
- ふれあいパトロール隊員約80名登録（年1回研修会開催）

「たくましさややさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業の点検・評価
総合的な学習の時間・特色ある学校づくり、ユニーク先生活用事業の実施など、夢やあこがれを育む教育活動を展開するとともに、学力向上と一人ひとりのニーズに応じた支援の充実を図るため、岩沼学び塾を開催し、各種指導助手、特別支援教育支援員の配置を行った。
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどを配置し、「教育・いじめ防止フォーラム」を開催するなど、一人ひとりを大切に生徒指導と心のケアの充実に努めた。
校内研究や教職員研修を充実させ、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、教職員の働き方改革にも努めた。
学校づくりに関する各種取り組みは、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

学びと潤いにみちた地域社会の実現

1 社会教育推進体制の整備

(生涯学習推進事業)

- 社会教育委員会議の開催（2回：6月・12月）
- 生涯学習振興事業助成金の交付 2団体 221,000円

2 学習機会の充実

(生涯学習推進事業) (放課後子ども教室推進事業)

- ジュニア・リーダー初級研修会の開催（14名参加）
- 子ども合宿の開催（20名参加）
- コラボスクール（里山体験学習）8回開催
- 電子顕微鏡体験教室の開催（5日間：123名参加）
- ふるさとの味、はらこ飯を味わおう！の開催（玉小・西小・北中）
- 二木の松俳句大会の開催（出展作品数1,986点）

3 家庭教育及び幼児教育支援の充実

(生涯学習推進事業) (放課後子ども教室推進事業)

- 東部のびやか教室の開催（24名参加）
- 西部のびやか教室の開催（46名参加）
- 南部のびやか教室の開催（43名参加）
- 北部のびやか教室の開催（17名参加）
- 子育て、親育ち講座 7回開催

4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進

(青少年室相談事業) (成人式開催事業)

- 相談件数 6件
- 街頭巡回指導件数 30件
- 小中高校生への声掛け件数 248件
- 有害広告物撤去件数 0件
- 子ども110番の家の設置件数 200カ所
- 少年の主張の開催
- 成人式の開催（389名参加）
- 青少年健全育成推進団体補助
 - ①岩沼市ジュニア・リーダー協議会 34,000円
 - ②岩沼地区少年補導員協会 36,000円
 - ③健やかな子どもを育てる岩沼市民会議 284,000円
 - ④岩沼市子ども会育成連合会 42,000円
 - ⑤岩沼市父母教師会連合会 50,000円

5 社会教育団体活動の推進と支援

(生涯学習推進事業)

○社会教育団体補助

①婦人団体連絡協議会	162,000 円
②ガールスカウト	21,000 円
③ボーイスカウト	21,000 円

6 社会教育施設の充実

○市民会館・中央公民館	修繕費	6,077,134 円
○西公民館	修繕費	657,615 円
○市民図書館	修繕費	373,680 円

7 読書活動の推進

- 利用登録者数：17,038 人 貸出者数：94,782 人 総貸出数：359,157 冊
- 入館者数：170,616 人 蔵書数：190,759 冊
- 市民図書館運営協議会 2回開催
- 読み聞かせボランティアステップアップ講座（107名参加）
- 朗読講座 9回開催
- 初心者向け読み聞かせ研修会（33名参加）
- 第7回文化講演会（47名参加）
- DVD上映会 5回開催（71名参加）
- 本のリサイクル市 入場者数約300人
- 読み聞かせサークルによるおはなし会（月3回～4回開催）

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業の点検・評価

のびやか教室、里山体験学習など地域の方に協力を得た事業を開催、平成28年度より事業を開始した「岩沼に愛着を持つ人材育成事業」も参加者に興味深く取り組んでいただき、地域の方との協働による学習機会の充実を図ることができた。さらに、青少年の健全育成や地域振興の一環として、子ども会育成会事業の支援を通じた、コミュニティづくりの推進に努めた。

市民図書館においては、本のリサイクル市、ぬいぐるみおとまり会等新規事業を含む各種事業を開催し、読書活動の推進に努めた。

市民の学習環境の整備、学習機会の充実に関する取り組みは、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

かおり高い芸術文化の醸成

1 芸術文化活動の推進

① 芸術文化鑑賞機会の充実

○文化事業協会の主催事業の開催 10事業19公演 入場者数延べ9,663人

② 参加し、創造する地域文化活動の充実

○第29回市民文化芸術祭の開催 44団体6個人、425人の参加
入場者数延べ2,008人

○第38回公民館まつりの開催 69団体956人の参加
入場者数延べ2,610人

○中央公民館学級・講座の開催 9教室355人の参加

○中央公民館玉浦学級・講座の開催 8教室220人の参加

○西公民館学級・講座の開催 8教室252人の参加

○中央公民館社会教育団体登録数 56団体

○玉浦コミュニティセンター 25団体

○旧勤労青少年ホーム 56団体

○西公民館 49団体

2 文化財の保護と活用の推進

(市史編纂事業) (文化財保護事業) (文化財発掘調査事業)

① 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備

○文化財保護委員会 1回開催

○ふるさと展示室において文化財企画展の開催(第18回~第20回)

○出前授業 8回開催

○文化財めぐり 1回開催

② 文化財や歴史資料の調査と保存・活用

○岩沼市史1巻 通史編I 原始・古代・中世の発刊

○岩沼市史9巻 特別編I 自然の発刊

③ 民俗芸能の保護・育成

○指定文化財等補助 ①竹駒奴 30,000円

②早股熊野神楽 30,000円

④ 震災からの復旧・復興に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進

○五間堀川拡幅工事に伴う下野郷館跡発掘調査

○北部・西部地区ほ場整備事業に伴う発掘調査

○原遺跡発掘調査

「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業の点検・評価

公民館においては、各種教室・講座を開催、また、多様な社会教育団体に活動の場を提供し、生涯学習活動を積極的に推進した。

市民会館においては、利用者数が昨年度を上回り、各種イベントを通して、市民が身近に芸術文化に触れる機会を大いに創出した。

文化財保護・活用については、郷土愛を育むために出前事業等を行うとともに、文化財の発掘、岩沼市史の編纂等に取り組み、岩沼市の文化財の調査・保護を前進させた。

市民の多様な文化・芸術活動への支援、及び市が残すべき文化や歴史に関する取り組みは、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

IV 学識経験者の意見

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

平成 29 年度における岩沼市教育委員会の事務事業の執行状況について、教育委員会が作成した「点検・評価報告書」（平成 29 年度実績）に基づいて、4 つの分野について重点目標として掲げた 17 項目についての点検・評価からその所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

夢やあこがれをはぐくむ学校づくりの柱に、学力向上の着実な推進や様々な教育活動の展開などを掲げて、岩沼市独自の施策を推進していることは高く評価したい。特に教育指導専門監の複数配置や指導助手・支援員のきめ細かな配置、総合的な時間・特色ある学校づくり推進事業などは今後益々その充実が期待されると考える。外国語教育のさらなる充実のためには小学校での教科化も踏まえ、現配置数の倍以上の外国語指導助手の配置が望まれるところである。

いじめ防止対策への取組や学校防災への取組など、こころと体をはぐくむ諸活動のさらなる充実を望む。震災の教訓を風化させないための取組は全小中学校で継続していきたい。

校内研究や教職員研修を充実させるとともに、教員が子どもと向き合う時間の確保（多忙化の解消）にも取り組み始めていることは前向きに評価していきたい。教員の働き方改革のためには、学校現場の実情の詳細な分析が欠かせないと同時に、学校教育が担うべきことと教員の任務を再点検していくことが必要と考える。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

のびやか教室や里山体験学習、岩沼に愛着を持つ人材育成事業などは、地域の人材と学校との協働による充実した活動として評価したい。図書館の運営・諸活動の充実は、市民のニーズを取り入れた新規事業を含む各種事業の創意工夫の結果と思われる。

中央公民館等の社会教育施設の利活用状況を考えると、地域格差の解消に向けた施策に取り組んでいただきたい。また、昨今の社会状況を踏まえ、子育て、親育ち講座の充実を望み、特に中学校入学生の保護者対象の講座新設の時期にあると思う。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

公民館・市民会館等の利活用は活況を呈しており、市民の文化・芸術活動への旺盛なニーズが読み取れる。各施設もその機能を最大限に発揮し生涯学習活動が展開されている。市史編纂、埋蔵文化財発掘調査など文化財の保護活用に成果が出ている。今後は、成果を市民に提供できる場の施設構想や上 2 で述べたように現有施設の利活用が飽和状態ともいえる状況を鑑みた長期展望を踏まえた施策への道筋を課題としていきたい。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

震災後の各施設の復興復旧がなされ市民スポーツ活動の拠り所が再整備され、市民スポーツ活動の支援と推進が図られている。特に、陸上競技場の全面改修への道筋は市民が期待しているところである。児童生徒の肥満傾向解消や成人の健康志向・メタボ対策など、市民が日常的に体を動かし、スポーツを楽しむ施設設備や各種イベント・ニュースポーツ普及などさらなる充実発展のための施策をお願いしたい。

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

岩沼市教育委員会が平成 29 年度に実施した主な事務・事業の執行状況についての点検・評価結果について、所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

他の市町村にはあまり見られない「教育指導専門監」を 3 名配置し、教職員の指導・助言を幅広く行い、指導力の底上げと士気高揚を図っていることはすばらしい。指導助手や支援員も配置され、きめ細やかな指導がなされている。財政的な問題もあるが、各学校の要望に応じられるように、継続的に支援を行っていただきたい。

教育の基本は、家庭である。「家庭学習の手引き」「家庭教育のために」の配布を通して、保護者への啓蒙・アドバイスを行うことは重要である。スマホ問題等、時流に応じた改訂も、適時お願いしたい。

学校・地域に応じた使い方ができる「総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業」の予算が確保されているのは大変望ましい。劇団四季による観劇や俳優・西村まさ彦氏による授業、サイエンススクール、ドーバー市との生徒間交流等、夢やあこがれをはぐくむための事業も多方面にわたり開催されており、心豊かで世界に羽ばたく人材が生まれることが期待できる。今後も魅力ある講師や事業の発掘に努力していただきたい。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

のびやか教室に、地域のボランティアだけでなく、学び塾の大学生も部分参加していることはすばらしい。連携に尽力されていることに敬意を表したい。

岩沼市は、他市町村と比べ、子ども会活動やジュニア・リーダー活動が活発であると聞く。これは、地域における育成会等の方の理解と協力の影響力が大きいと思われる。良好な関係作りと、予算的な支援・配慮を継続してお願いしたい。

図書館を巡回したとき、多くの小中高生が真剣に学習・勉強していた。反面、お疲れの高齢者も若干見受けられた。さらに充実した蔵書の確保、読み聞かせ研修会の実施等を期待する。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

被災から復興し新しくなった玉浦コミュニティセンターをはじめ、多種・多様な講座を開催・提供し、充実した公民館活動が行われているようで、好ましく思う。

原遺跡は、全国的にも誇れる遺跡であると聞く。今後の発掘状況にもよるが、積極的な広報活動があっても良いと思われる。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

愛好家の多いグラウンド・ゴルフの練習場でもあり、全スポーツの基本となる陸上競技場の改修工事に着手できたことは大変良かった。引き続き、他の老朽化した施設の整備促進に尽力していただきたい。

著名スポーツ人の講演会の実施、スポーツに興味を持つ子どもたちの地域指導者の確保等、今後も計画的に支援に努めてほしい。

5. おわりに

望ましい教育環境づくりに鋭意尽力され、順調な成果をあげられている教育委員会と、御協力いただいた関係者の皆様に敬意を表したい。

岩沼市教育委員会点検・評価報告書（平成 29 年度実績）

平成 31 年 1 月発行

発行：岩沼市教育委員会

編集：岩沼市教育委員会 教育総務課

〒989-2480 岩沼市桜一丁目 6 番 20 号

電話 0223-22-1111（内線 552） FAX 0223-24-0897

メール kyouiku-soumu@city.iwanuma.miyagi.jp